

CA 1[®] Tape Management



概要

CA 1 は、z/OS[®] テープ・データセットおよびボリュームの管理と保護を簡略化し、統合することを目的に設計されています。日々のテープ管理を自動化し、テープ・データの高度な統合ができるほか、不注意によるテープ・ファイルの破壊を包括的に防止します。CA 1 は仮想的にも物理的にも、最新の自動テープ・ライブラリやロボット・システムと連携します。また、テープ管理タスクを自動化する一方、不注意によるテープ・ファイルの破壊を防止し、重要なリソースを保護するプロセスの能率を向上します。また、CA1 は、企業全体にテープ管理を拡大する柔軟性と拡張性も備えています。

主なメリット / 成果

- **IT の生産性を向上**するために、自動化とテープのライフサイクル管理を導入
- **コストを削減**するために、オフサイトの保管庫とテープの移動を最小化
- **リスクを緩和**するために、TMC をスケジューリング、自動化、および遠隔地へレプリケーション
- **迅速に問題に対応**するために、直観的な UI とリアルタイムのアクセス保持スケジューリングを使用

主な特長

- **テープ・ライフサイクル管理の自動化**: CA 1 は、柔軟性に富んだ保存機能、大規模な保管機能、および複数の遠隔地への効率的なテープ・サイクルにより、テープの取り扱いを全面的に管理します。
- **包括的なデータ保護**: 徹底した完全性チェックにより、テープ・データを包括的に保護します。
- **テープ・コピー・ユーティリティの自動化**: CA Copycat Utility は CA 1 データベースでデータセットの属性を維持しながら、テープからテープへのコピーを可能にします。
- **インタフェース**: Web ベースおよび Windows[®] ベースの CA Graphical Management Interface (CA GMI) を統合します。
- **復旧時間の短縮**: 障害発生時、遠隔地でのレプリケーションにより CA 1 TMC の迅速なポイントインタイム・リカバリを可能にし、TMC のアクセスを最大 6 倍に加速できます。¹

ビジネス上の課題

ストレージ管理では、以下のような課題があります。

- 分散した環境で生成される大量のテープ・ファイルをセキュリティ保護する。
- 複雑で時間のかかる手作業でのテープ管理タスクを自動化する。

データの完全性を維持する必要があるにもかかわらず、ビジネス・データを継続的にチェックし、上書きを防止するツールが不足している可能性があります。テープ・ボリュームに関する詳細情報を取得する方法を合理化し、共通のプラットフォームによって管理を効率化する必要があります。また、セキュリティ、スケジューリング、再スタート / 再実行、運用の自動化および出力管理を含む他のエンタープライズ管理機能と統合可能なソリューションも必要です。

ソリューションの概要

CA 1 は、z/OS テープ・データセットおよびボリュームを管理し、保護します。テープ管理のタスクを自動化し、テープ・ファイルを不注意による破壊から保護できます。また、オフサイトの保管庫や、ユーティリティによるテープおよびカタログのメンテナンスの制御など、テープ・ライブラリのインベントリと監査追跡の包括的機能も提供されます。

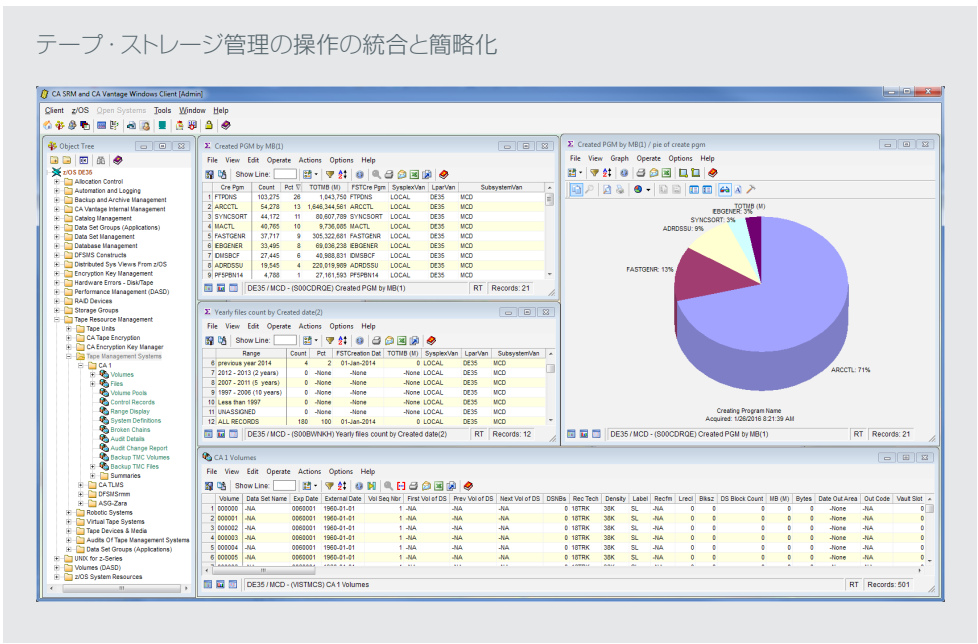
また、遠隔地にレプリケートしたコピーを使用して、1 つのシステムまたは場所から 1 つ以上の遠隔地のデータセンタに Tape Management Catalog (TMC) をレプリケートする機能が含まれています。それによって、障害が発生しても、最小限のダウンタイムで安全なテープ処理が再開され、復旧時間の達成目標を短縮できます。強化されたユーザ・インタフェースによって、バックアップ・チェックポイントからのボリュームとファイルの確認が簡略化されるため、監査とチャージバックのプロセスが円滑化します。

主な差別化要因

CA ストレージ管理ソリューションは、従来のストレージ・ベンダとの差別化を目的に設計されています。これはハードウェアではなくソフトウェアであり、それこそが重要な点です。CA はベンダ中立です。ベンダ独自のストレージ向け製品では、ハードウェア固有のインストール、管理、サポートのみが提供されますが、CA はそれ以上の機能を提供します。また、コンプライアンスと「環境に配慮した」取り組みに対処しつつ、効率性を改善し、ビジネス情報のセキュリティも強化します。

関連製品

- **CA Vantage™ Storage Resource Management** では、ストレージ・インフラストラクチャ全体の使用が最大化されます。
- **CA Vtape™ Virtual Tape System** では、仮想化によってテープの利用率と処理性能が向上します。



サポートする環境

- CA 1 は IBM® がサポートするすべての z/OS リリースに対応しています。
- TMC のレプリケーションは、複数のアクティブなデータセンタを展開しているユーザに適用されます。この機能を使用するには、ローカル・サイトと遠隔地の両方で CA 1 を実行する必要があります。
- 最大 31 までのアクティブなデータセンタが、TMC のレプリケーション構成または TapePlex に参加できます。

詳細については、ca.com/jp/mainframe/storage をご覧ください。

CA Technologies (NASDAQ : CA) は、企業の変革を推進するソフトウェアを作成し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスを獲得できるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。詳細については ca.com/jp をご覧ください。

1 内部の CA Lab によるベンチマーク・テスト、2016 年

Copyright © 2016 CA. All rights reserved. IBM および z/OS は、International Business Machines Corporation の米国、その他の国またはその両方における登録商標です。Windows は、米国その他各国における Microsoft Corporation の登録商標です。本書に記載されているすべての商標、商号、サービスマーク、ロゴは、該当する各社に帰属しています。本文書は情報提供のみを目的としています。本書に含まれる情報の正確性または完全性について CA は一切の責任を負いません。準拠法で認められる限り、本書は CA が「現状有姿のまま」提供するものであり、いかなる種類の保証（市場性または特定の目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証が含まれますが、これに限定されません）も伴いません。また、本書の使用が直接または間接に起因し、逸失利益、業務の中断、営業権の喪失、業務情報の損失等いかなる損失または損害が発生しても、CA は一切責任を負いません。CA がかかる損害の可能性について明示的にあらかじめ通告されていた場合も同様とします。

CA は法的な助言は行わないものとします。本書、または本書に記載の CA 製品のいずれも、お客様による法律（法令、法規、規制、規則、命令、ポリシー、基準、ガイドライン、対策、要件、業務命令、行政命令（以下、集合的に「法律」と表記します））遵守に代わるものではありません。本資料に記載した法律については、適格な弁護士にご相談ください。本資料に記載された情報は、幅広い開発および顧客環境における参照ソフトウェア製品から CA が得た経験に基づいています。このような開発および顧客環境におけるソフトウェア製品の過去のパフォーマンスが、同じ環境、類似した環境、または異なる環境で、かかる製品の将来のパフォーマンスを示すものではありません。CA は、ソフトウェア製品が、本書に記載される明確な説明どおりに動作することは保証しません。本書で参照される製品に対する CA のサポートは、(i) 参照される製品について提供されているドキュメントおよび仕様、(ii) 参照される製品に対する CA のその時点でのメンテナンスおよびサポート・ポリシーに従ってのみ提供されます。